

「リベルダージ・ジャポン広場モニュメント除幕式」山田大使挨拶

みなさま、こんにちは。

リベルダージ・ジャポン広場の名前を冠したモニュメントの除幕式典にご招待いただきありがとうございます。

本年、最初の移民船である笠戸丸がブラジルに着港して **110** 年を迎えました。この長い期間、日本人移民は多くの困難を乗り越え、その努力により、現在のブラジル日系社会が築かれました。

ブラジル日本人移民 **110** 周年を記念して眞子内親王が御来伯され、**7月21日**のサンパウロでの記念式典にご臨席いただいたことは日系社会にとって記憶に刻まれる大きな出来事となりました。眞子内親王の御来伯に際する市長及び関係者の御協力と御尽力に感謝いたします。

さて、サンパウロ市のリベルダージ地区は、日系社会にとって、コミュニティー構築のために努力の末に築き上げた場所であり、歴史的に極めて大きな重要性を有しています。また、社会支援やスポーツ、日本文化等の保存・普及活動に貢献されている、文化協会、援協、県人会などがここで設立されました。サンパウロ市において日本の文化が感じられる街でもあります。

この広場の名称変更が、日本やサンパウロの日系社会に対する信頼と理解を深めることとなることを期待しております。そして、リベルダージ地区が、今後も様々な国籍の方々からなる多文化共生地区であり続けることを願っております。

広場の名称変更尽力されたリベルダージ文化協会、そしてヒロフミ・イケザキ リベルダージ文化協会会長に敬意を表します。

最後に、本日ご臨席の皆様のご健勝と、リベルダージ・ジャポン広場が二国間の友好の象徴となることを願いまして、私からの挨拶とさせていただきます。